錬成を加へる間かにした [音音]

談長局務學

。歸來者殆ど出陣

| ◆小坂八瓜氏(半島鴻錦寶鴻加美) | 廿一日柳簡卓。

本資法司官団治文學以(上下)に難らて日清等を自動の憲法文學別表示より協治世中代中華法でを非別る国施す。(新刊いよく「影響)

明治文學史上沒

-

日朝本ロウエー刑勢所から縁放さが、同夫妻は遂に三年半ぶりに廿

た信英國内務省から正式に鞭裘

東殿 本間久雄著

質は、大・八〇

に配 戦 電 置 闘 氣

識のは、特殊大器すべき帰事であ

落下傘讀本界陽學學問 明治天皇御集研究三井甲之者

信

の書音機・訓者

の間を対し

京

▲ つた ▲ 国識物園園の場所はいたまでもないこと、各盟職物園園の場所はいけて簡単の行所によって単地を制まし、光電気を製造を制ました。 本理の説明し第のた ▲ それののでなく、 類似単独を出した単位を制度 れた疑問の描述に至っては、或は お此、或は誘致、病床の父が子に をして。 を加え、或は誘致、病床の父が子に 告して歌励するなど、全朝時はそ のとだゞ一つのためにのみ熱中し たといってよい▲その間に脳級さ では、梭友質が空間記憶の名を以

十三軍の首腦部は 音楽出の観 Lease Langer La (情水の)が に合はせた者き概など、その例は 関係がし に大学を脱いて落に国出場間に問 校場に強がない▲それは初めて贈 とが出來る▲つまりそれ間も早島 にも替て別を見なかつた中国場げ また制氏或名制度が競裂された時間時別志属民間が作かれた時にも **押られるなれの帰日端だったから** 半周同胞の島民としての世間がに り福時特別心頭といることが

敵四十四軍主力を殲滅

棚下17戦時間大觀 緊急環境 昭 大 佐 傳 緊急環境

世界 大地圖

店静市著

文那繪畫史研究

【取料・2部矢兵) 下四支那強の木質・配生・設限を置系づけた。 で四支那強の木質・配生・設限を置系づけた。

宮澤賢治 魚際縣區 清山龍州

(淅刊弘松十一號) **安徽五。**四三十三

總覺教育。新研究 『筒』教育に對する對しい昭和に関し組織的展記の方面から顧察を下すと共と現下に於て最も

東京

イシク 日常支那語圖解

类 但实擊 8

日本の力で和平質現

abに残る敵機二機に全く帰還不能の損害を與へ 物の密密に順を完配

【中支前紀廿日同盟】石門西北十

好調の學徒志願兵締切

響の地域をは物し内地に各関する一量動なく批判し今後に聞へる旨を

朔國の示談を道際なく歌弾した 年脳人の

在長遠格局 米配によればいよく、十二月廿 大立法論 単純間 音のファンスト 欧江閣域で決定し十一月廿 大立法論 買が間 音れる像症と解析、内理 びに首相を選出すると、ともつ説が、 十一月世 | 地] 共和 ファシスト郷は イタリズ を一千円 ト首領釋放 廿日同盟 英ファシス 【リスボン 領オスワルド・モズレー夫妻の釋ロンドン來見=英國フアシスト語 十二月末開會ン計局

の中にその取行を注目されてあた
放問総体英國各方面の猛烈な非難

-8.

全人 (上文) 「中国 (中国) 中国 (中国)

少年兵學校

d)

ぐリ

ポだ母職レさの汝け切れぬ新入生 の鏖校を目指してゐる點である、|

も一つ路省を疑問する方針も注目

木造始式

帝都に高し出陣學徒の意気

の感激で滅敵だ

女學生も力强き聲援

戦ぶ輸送戦士の査閲

5.14

一般同年の他の子供と違って最然 たる精神を持つてあるかを反答す

周到 こそ校風の誇り

林 になった はんだい きゅう

•

よくチキま

英茂緋

京

黄金座公演 愛媽鄉樹 情情

場劇一第 場劇陸大

場劇洋東 座富新

| 本製用 |ス電影尼 場劇花桃

日本ニユー

東温温

只今休演中です

館畵映信和

場劇央中

小磯磯督 競演劇を鑑賞

英塵の遠烈偲ぶ

凍つたお野菜

٠, ٠

慶門房里

場劇南城 座 治 明

場劇路日京

寮母至金売求む。

F

若寶

城劇

劇

一公用 分離 名屋 父

學童に見せた

一、 今

日水ニエス

館花浪 館樂喜

座日朝

生蓋

けて懶す本社の五大石一〇、バイブというた日常の身綱、東えめる出戦暴徒に蔵し品の中には一元からカミブリ、

る 乙指 云 鉛 目 所 な 野 陶 A へ し ン ス の 定 ふ の 由 を リ 果 に 傷 を 不 た

獨軍、英本土爆擊

種施策し來つた所であるが、さら 2さぎに国産機能の「として個」素値院で素場「数級響され、わが 〇萬石の

に高端が國の食糧増産に對する能一批計畫由十二ゲ所の開拓造成 艦の食機動策略立を要認すると共 五年)以來すでに實施中の既任

萬の勞力動員 ある。右計器の大要は左の如う

たといはれ、同選はこの所再び非

黑シャツ部隊

日午後一時半東京瞬砂の列車『富

田中總監

ピッエロナ市で無大台を開催 、來電=共和フアシスト難は十

プロ1日回国 ひげぶ

||個に立語は不開より趣鑑に同作

京城田 遷製築株式會社

シモルホ性女力程・井特法製

行かえ

米力

ポカ

體となり

緊急農地造成

捻合ひの猛闘續く

東部各地、獨反擊力增大

はじめ帝國朝野は魏曾ある毎に漢國の謝意を奏じ、日嗣不司分願物心國前にわたり直接、尚既に極めて大なるものがあり、東條首相

単は今や観然たる防禦部勢が

東部各地、赤軍を阻止

獨の反撃奏功

東部戰線活潑

かくて赤軍は去る七月の夏季攻

學徒よ更に總蹶起

國家の要請に應へよ

西大岳の峻嶮に我軍出撃、議事の経別者

前十一時本年藤米第二回豫標收養。北の一路に風水響、また四國およ

よび十日の陝日にわたり開東、東一

び近畿の「部地方に病害が意生し

らず十月三日および十日に風 郷蜀したる もその他の 地方 が、中國地方は振して順調 が、中國地方は振して順調

內地產米第三豫想

分二厘減、六千二百五十五萬石

記者盟の監問に答へて中國統一

同日午後一時半からカセイ・ホテ た自由印度関政府管理ホース氏は「上海廿一日同盟」廿一日來送し

ボース氏 滿々の闘志披瀝

スサー日同盟」」せんとする傾向を示してあるが、一座電によれば反信職法の上陸用サ 米、ソロモン水域航空隊司令更迭 將來の選倡期壁についても瞬回の一阵がこの腹目間に多数ジプラルタ

ブ島沖の大敗戦で詰腹

エチオピヤ戦争に際しては誤シ

中、印携へて解放

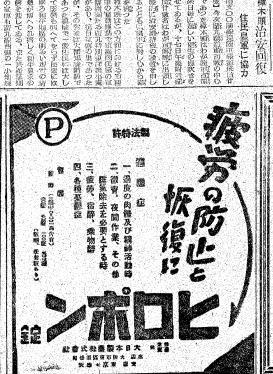
轉を体務





●○大三原大智慧 所刺製材竹 二可用大久南面页照大 元實験造製





飜る日

章旗の

てよ道義文化

ついていへば、朝鮮はもと! らぬそだ、國際と朝鮮といふ點にあり我々の特に銘記しなければな 前旗統治史上特盤すべきことで

たくいへは義理人情に基く文化で を以て聴ってをの意範則ちのら

地回樣神道の國であり、内地人の

れる間の複雑にも國南壁間のつば になり、廿日代装者が武官府を助 ではこの赤賊を穆軍にも分つこと 微試料運動は次相ぐ銃後の示【を出】郷原養田支部提唱の

既で観察管局でか顕満組合と安部

【製門筒】名庫リンゴが最近出廻

リンゴの闍撲滅へ

飛行隊を見學哲」大泉外地代表土浦「東京局

徒激勵大會

否山氏狮子吼

出陳恩徒波蘭大騎討会に臨 み。青年に皆でくと続して み。青年に皆でくと続して

大君のレろしめす。高、皆語君の総六番間にない、日撃敗の統へる國 土であり関北太平洋になたがつで

れてをることでも物るの御名が記さ

原理を把握

には今朝鮮とか、内地とかい

たが、その酸液を含は

この日章旗を守る高

悪怒の御進講 をきけさ

開かれた朝鮮戦級領主帰の

松敷調口敷育においてしめやかに十時から小石川区間口台町の天主 外数次官委員長となり廿二日午前

与フランス大館シャルル・アル 質問語】 表る十四日急逝した

大公伯など意外

進められたが、同四十分ギオ・

大使の葬儀

宮殿下台臨

代表して交科三年被資格男利

聖器萬徳を羅唱して式を終了し

の伴奏で一回。独行かばしを齊唱

の長男吉井協君(高等科文科

に對し假卒變節曹の桜町があり、歌院長から田剛恩征商等料二年

する暗れの懸徒に對し盟行為

皇太子 様も御参列

晴の出陣へ學習院の壯行式

一個職するはずだが、こし

み鑑の隊報農

本君の影響された岡山殿下雕

こなつてあることがわかつた

※整を駆けしめる ・

であげて最高なる目的気後へ適能

無安宗大學、風門を長音識を本印息動局是案で開く

お召

って蘇佐出陳に到する一點へ蘇

恋願縁症に對し一人機らさず機・ で譲成するといる緩心を示し、 を行ふが、一方内端翳深着の高 を行ふが、一方内端翳深着の高

に歸らず

観民器の發明と製作に絶對不可眺新民器観へと發展しつ、むるが新

恣京城三部を曾場とし出品物は現 代料學長器の華、ラジオロケー

の後援で十二月十五日より廿六日

く無距駁の機相は航空決蹴と共に

新兵器生みの親

開く稀元素鑛物展覽會

を総で排ひ回じ気負にも のであつた

認師等から稀元素

一緒元素については末だ一

ものだいうか々と現地震村で感激|子供の活物の洗剤をするとい 全村感激の的、天晴れ岡本君 く捨身の郵仕をつづけ村人から原 そこへ 関本窓の 郷里の母から、 展置會は、京城でも開催することになった、

町、海爺武官府、朝鮮樹工南磯 などであるが、特に半島は本邦に陸海軍省、薩摩府、朝鮮国司令 | 及び朝鮮と稀元繁

時から添山標道ホテル「最および京城郷当局陽係書末す名 奴と郷郡111米粒ノニュの鑑賞局では竹日午前九一ル,満負ホテル、熊堂文部人、本一ル、賞堂の更更な鰥の一元的監察が高さは竹日午前九一ル,満堂の本の 人名 動鳥刺激と誘題案を始め、赤っ

から鮮鐵にお目見得

援房を置かぬこと、

本ル、食堂の背別 1 男子に代って来春助員され でも郷酢サー日解敬したが では、一日解敬したが でする。

食堂の重要食糧の一元的職場

陣學徒へ餞 愈々卅日開く

施される麒麟閣深ホテル、列車員 統裁の下に内地に顧隠して來春以

人行事の一つ、朝映が各界の後級 た牛島出職學徒を批行する本社・大臣を頼可の怒鶥に包んで志願

時代の脚光を浴びて夏から秋にかける

問り各風後間在数に限じて指

人は目になっ

見、発験もみごとな紡箪をみせて、 読らしげに打ちひろげてゐた時代の電

まや政人和の楽しい繁忙を終て、所際

思を打つで家 の身の危殿の

智、問語

社権名を超入して申込まれたい

馬匹品評會

飼養管理を審査

出版に組合では

が伝れての目

推一室所入 证 2000年0日 開展的全国社会

九晨曾同人展 日本聯合

文化だよ

だ。やがてこの専門は親ひの場に出瞰して

米英階級の俄間に制せ強するであらう

海鷲へ飛機を

用して種様もしたもので、離れば三斗の吹

毘伽の維維質の採出に「忙しい、これは同

→あの旗を撃て

一覧之内形代 に水友高盛 に水友高盛 に水友高盛 の上に肺る1小 環司

は諸野と共に攻びに際要はせこの諸策を諸君に後とと、対りたい

施政の大方針とされてをる、これ

大島昭念館大勝策において

致します。
電に無煙炭灰さに改造御引受在來の有煙炭用ストープを簡 キイ式焚口 製造ル ストープ改造お知らせ!! さく商店業処部

無料 ・ 脚道網際小児 ・ 脚道網際小児 ・ 脚道網際小児 院院山氏、初心四百(水)午後 產婦人科 署 医学博士 部 森川蓝夫 電訊品電子

開交人報政

國 illar

事務所移轉 電話本局②一四九八番 醫院

た柳宗豊門 『四本語の 題 送 原 (R) (B) (B) 图大3四·0一大三〇周末起秦·九九一日丁二时至《《明·



清實 算物

計理事務所 次算整理檢查

國報券證



面透直到

安田 在山品人及主 医学博士安田 實 京城岬江(三姓来側上以) 電話 中国(三姓来)

株理 ⑦ 期短 店商福港海内 原省明冰京。

ラマー信長 ラマー信長 て芸婦

だったが

職作 和田皮家性病 大の病院 東京院 東京 一番

速 報

鏡 解細内野成品 の の ま 年 が 2 の の ま 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 3 年 の 4 年 の 5 n I 谵

別から軍匪の父を懸へてあた矢先れるや村人は威夷にむせび 悲魔に暮れたがメいぞ自分。ん方では岡本君の父上の祭譲を設 語で内地へ來たのでは「はて

脈前に朝晩の供物を

蒙らず本

> 保 況 (田)世) 合

> > 大和

南方の戦域で数の反攻を開降する めの懇談會を開くとになってある 毒面の檢査 受けよう防

一数に應ずることになってある 別等關係を主催とし防笞一般の相

無壁炭で 勝ち扱く 燃料中島名の一 換氣にご注意 思する様になるから 関性ヒステリー症と同じ征訟を 関性ヒステリー症と同じ征訟を 酸化炭素の被害

充分ない。多期に於

成当に信息 が、勝当にす と、教學は つで はない

能局家が勝 の言い西 賴科

東國剛電車 (福田所削) 皮属・沙尿 **性病科** 医学博士 実元 錫 電光(32131

證片